

魏志倭人伝の秘密を探る

著者 高川 博

出版社・22世紀アート kindle版 500円

邪馬台国や卑弥呼に関わる史料は晋代に編纂された魏志倭人伝であり、その時代における古代中国人の眼から見た倭人（倭国）の姿を復元する必要がある。その作業から浮かび上がった真相は、邪馬台国連合と狗奴国の争いの実態はなく、魏の半島派兵要請に対して、内乱を口実に派兵をかわす、という卑弥呼政権の戦略があった。

●魏から倭へ与えられた詔書や黄幢それに檄は、狗奴国との抗争勝利のためではなく、半島出兵による韓族牽制を目的としていた。倭の使いが、しきりに狗奴国との争いを強調しているのは記録されているが、疑わしい。魏が東夷の小国の紛争に、そこまで肩入れする必要はない。

●魏志韓伝にある韓族の反乱による帯方郡太守・弓遵の戦死という事実を無視・軽視してはならない。帯方郡の新しい太守となった王頎が派遣した張政は、倭兵の早期派遣を強く要求したに違いない。「夷を以て夷を制す」は中国古来の伝統政策である。

